

## 「継続力の大切さ」

【明治大学 商学部】  
国際ビジネス科 女子

私は愛知商業に入学した時から、明治大学に進学することを目標にしていました。愛知商業では3年間の評定平均が進路に関係すると聞いたので、1年生の頃からこつこつと上位の成績を目指し、日々の授業はもちろんテストにも真剣に取り組みました。

そんな中、私が学んだことは「継続力の大切さ」です。私には明治大学に進学するという明確な目標があったため、最初はその目標に向かって努力を続けることができました。ですが、それには限界がありました。なぜかという努力の結果が目に見えて分からなかったからです。勉強したはずなのに思ったように点数が取れず、自分の努力が無駄だったように感じられることもありました。そんな時に私は目標が達成して喜んでいる自分や家族の姿を想像して、自分を信じ続けました。すると自然とやる気が出てきて、失敗することへの恐れが無くなりました。これを繰り返しながら、私はよりいっそう勉強に力を入れ頑張りました。わからないところは先生方に質問しに行くと、いつでも優しく丁寧に教えて下さりました。また記憶が定着しているか不安になった時は、友達に教えることで自信をつけていきました。

そうした努力を継続できたことで、ずっと目標であった明治大学に合格することができました。支えてくれた家族や先生方、友達には感謝してもしきれません。目標を達成してほっとした気持ちがすごくありますが、実際はまだスタートラインに立っただけにすぎません。これからが本番です。大学に進学した後も、愛知商業で学んだ継続力の大切さを忘れることなく、未来を幸せに生きる自分に出会う為に、これからも努力し続けたいです。

## 「継続力」

【南山大学 経済学部】  
国際ビジネス科 女子

私は、バスケットボールをやりたかったので愛知商業に入学しました。入学直後は将来の夢も曖昧で、進学先も考えていませんでした。しかし、なにもしないで高校3年間が終わるのは嫌だと思ったので勉強と部活を両立させるという目標を立てました。

部活動は朝早くから夜遅くまでであるので、勉強との両立が考えていたよりも大変でした。電車の中などの時間を大切に、効率よく勉強することを意識しました。日々の継続が力となり、入学したときにたてた目標を達成することができました。そして、3年生の6月になり進路を考えるようになりました。将来の夢もこのとき決まっていたので夢を叶えることができる大学に進学することを決めました。しかし、志望する学科には資格が足りませんでした。諦めて他の大学を志望することも考えましたが、夢を叶えたいという思いが強く夏休みに資格を取ることになりました。その頃の部活動はウィンターカップ予選に向け練習していました。その中で検定勉強をしなければいけないので大変でした。しかし、それまでに経験したことを生かし、両立させて夏休み中に資格を取得することができました。そして、指定校推薦をもらうことができ、入試本番には落ち着いて試験をすることができました。

この合格は3年間の継続と、私を支えてくれた沢山の方のおかげです。進学して迷うことがあると思います。そのときは愛知商業で学んだことを生かして将来の夢へ突き進んでいきたいです。そして、支えてくださった方たちに恩返しができるよう頑張っていきたいです。

## 「目標設定と習慣」

【名城大学 経営学部】

事務科 女子

私は、高校に入学した当初から大学に進学したいと考えていました。具体的な進路までは決めていませんでしたが、高校3年間で商業科目を学んだことで、さらに簿記やビジネスなどの知識を深く学びたいと考えるようになりました。また、高い就職率と学費が安い点が魅力に感じ、名城大学経営学部への進学を決めました。

私は高校に入学してから、「勉強をする習慣」がついたと思います。3年間を通して、さまざまな検定の取得に挑戦してきました。検定合格という目標に向かって、日々の授業を真剣に受け、毎日授業の復習や課題に取り組むことは簡単なことではありませんが、多くの検定に挑戦するうちに自然と勉強をする習慣ができました。また、先生方が親身になって補習や面接の練習を行って下さったことも努力を継続できた理由の一つです。

これらの経験から私は、目標を定めることの大切さが分かりました。どんなに小さな目標でも目標を達成することが出来ると、達成感が生まれます。この達成感を積み重ねていくことで、努力をする習慣・勉強をする習慣を作ると思います。

大学進学後やこの先の新たな場でも、学ぶことへの向上心を忘れず、目標に向かって努力し続けたいと思います。そして、愛知商業高校で学んだ3年間を生かして今の自分よりも成長できるように頑張りたいと思います。

## 「一つの興味」

【名古屋外国語大学 外国語学部】

情報処理科 女子

私は、自分が何をしたいのか分からないまま愛知商業高校に入り、情報処理部に入学しました。部活動ではプログラミングの面白さを知り、将来はITに関わる仕事に就きたいと考えるようになりました。1年生の秋には行きたい企業も決まり、そのための勉強も頑張っていました。

しかし2年生の冬、進路を考える時期が迫っている中、私は英語の先生の海外での話を聞いて、海外に興味を持ち、自ら進んで調べていくうちに将来は海外で働きたいと考えるようになりました。そこから私は英語を学ぶことができる大学を目指し始めました。両親には高校入学当初、就職すると話していたため、初めて大学に進学したいと話したときは反対されました。いつもの私ならここで諦めていましたが、この時の私はどうしても諦めることができませんでした。そのくらい大学に進学したいという思いが強かったのです。自分の思いを話すのは苦手でしたが、納得してもらえるまで自分の意志をしっかりと親に伝え、何とか大学進学を了承してもらいました。また、1年生の頃からコツコツと勉強してきた甲斐あって、名古屋外国語大学の指定校推薦をいただくことができ、無事合格することができました。

私が最後に伝えたいことは、色々なことに興味を持つことの大切さと、絶えず努力し続けることの大切さです。私の進路は一つの興味で変わりました。たとえ今夢がなくても、この愛知商業で学びを深めればやりたいことが見つかるはずですよ。この学校にはそれだけの魅力が詰まっています。そしてやりたいことが見つかった時、やってきた努力は無駄ではなかったと実感する時がきます。どんな進路を選んでも良いように1年生のうちから何事にも全力で取り組むべきだと思います。

## 「小さい頃の夢と商業の結び」

【名古屋文化短期大学 ファッションビジネスコース】

経理科 女子

私は進学も就職もできること、資格取得にチャレンジできるという理由から愛知商業に入学しました。愛知商業は3年間の評定平均で進路が決まるので、進路選択で困らないように定期テストや資格取得に励みました。

小学生の頃、ファッションデザイナーやスタイリストになりたいと思っていました。しかし高校に入り商業を学んでいくうちに商業の知識を生かした職業に就きたいと思うようになりました。その二つの夢をかなえられるのは、服を作る側ではなく、ビジネスを通してファッションの仕事に就くことだと考えました。その夢に近づくことができる名古屋文化短期大学のファッションビジネスコースへ進学することに決めました。

最初は総合型選抜で受験しようと思っていましたが、指定校推薦があることを知り、条件をクリアしていること、確実に早く合格したいという気持ちから指定校推薦で受験することにしました。指定校推薦は、志望理由書と面接から評価されます。志望理由書や面接の内容は自分が納得いくまで考え、後悔が残らないように頑張りました。テスト期間と受験が重なってしまってやることが多くて大変でしたが、計画を立ててその通り実行したので受験とテストを両立することができました。

愛知商業は自分の頑張り次第で将来の夢に一步近づきます。先生方や友達も目標に向かって、協力や応援をしてくれる環境でとても感謝しています。

進学先は、たった2年間なので気合入れて資格所得に励み、いい就職先に会えるよう頑張りたいと思います。

## 「自分が決めた道」

【愛知県立総合看護専門学校】

経理科 女子

私が看護学校を目指し始めたのは、高校2年の冬でした。それまでは、商業高校に通っているのだからといい就職するつもりでいました。ですが、高校2年の冬の進路指導の時に改めて自分が将来何をしたいのかと考えました。高校で取得した資格を生かしたいと考えるようになっていましたが、人生の半分近く仕事をすると考えた時に人と直接関わることができ、人の役に立つ仕事がしたいと思いました。

また、部活動は野球部のマネージャーをやっており、その経験を活かしたいと思うようになりました。その頃、部活動を始めて2年ほど経っていたので、日々のサポートなどマネージャーの業務にやりがいを感じるようになっていました。そうしたこともあり私は看護師を目指すようになりました。

私は今回公募推薦で受験しました。急な進路変更でしたが、1年生からそれなりに部活動と勉強を両立させてきたため影響は特にありませんでした。しかし、指定校推薦ではないため落ちる可能性があるということ頭に入れ、部活動引退後から受験の勉強を真面目に取り組みました。受験が近くなるにつれ、プレッシャーを感じ嫌になることもありましたが、面接練習の時に「素敵な看護師さんになれるよ」と何人もの先生に言っていただき、期待に応えたいと思い頑張れました。専門学校に入ればたくさん学び、病院実習などが待っており、看護師になれば命にかかわるという責任感もあり大変なことも多いですが、自分が納得し決めたことなので、人の役に立ち、少しでも多くの人を支えられる看護師になります。この愛商でのさまざまな経験を活かし、周りの人と協力をしながら立派な看護師になれるように頑張りたいと思います。

「愛知商業での3年間」

【名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校】

情報処理科 女子

私はずっと高校を卒業したら就職しようと考えていました。その一方で自分の可能性にチャレンジしたいという気持ちもあり、3年生のぎりぎりまで悩み、キャビンアテンダントの仕事に興味があったので、キャビンアテンダントの仕事が専門的に学べる学校のオープンキャンパスに参加したところとても興味を持ち、この学校に入学したいと思い、最終的に専門学校への進学に進路を変更しました。

専門学校の先生にキャビンアテンダントには多くの知識が求められるので「日々の授業を大切にしてください」とアドバイスを受け、これまで以上に日々の授業を集中し熱心に取り組みました。私は、キャビンアテンダントには学力、英語力はもちろんの事、周りの事に目を配り続けることが大切だと思いました。

また、所属していたテニス部では副キャプテンとし、キャプテンを支えることだけではなく、今まで以上に周りに目を配ることを意識していたおかげで、入学当初よりも周りに目が配れて、それに加えて人の顔色なども伺いその場合どんなことを気にすればいいかなど、色々な面でも成長し、キャビンアテンダントに必要な気配りなどのスキルを身に着ける事が出来たのではないかと思います。

愛知商業に入学してからの3年間で生活面や人に対する思いやりなどが学べました。特に3年生の間でいろんなことに目を向けたおかげで、多くの面で成長できました。これからも色々なことに目を向け、目標とする「周りに目を配れる」キャビンアテンダントになれるよう頑張っていきたいです。